


報道発表資料の配付日時 11月7日(木) 15時00分

発表項目 (行事名)	野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生状況について (高病原性確定 オホーツク総合振興局・斜里町 道内6例目 等)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 10月29日に斜里町、30日に釧路市、31日に大空町内で回収された死亡野鳥(オオハクチョウ)各1羽及び10月31日に北見市内で回収された死亡野鳥(ハヤブサ)1羽について、環境省から、本日、国立環境研究所で実施した遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が確認された旨、連絡がありました。</p> <p>【野生動物対策課 野鳥の高病原性鳥インフルエンザ情報ページ】 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/birdflu.html</p>  <p>〈今後の道の対応〉</p> <p>(1) 関係振興局は、野鳥監視重点区域における監視強化を継続します。なお、現時点で道内において、野鳥の大量死等の異状を認める報告はありません。</p> <p>(2) 斜里町、釧路市、北見市の回収地点から半径3kmの区域内に家きん飼養農場はありません。</p> <p>大空町の回収地点から半径3kmの区域内にある家きん飼養農場に対し、飼養家きんの異状の有無等を確認しますが、現時点で道内の家きん飼養農場から異状を認める報告はありません。</p> <p>(3) 北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会構成員には情報共有をもって発生予防対策の徹底を図ります。</p>		
参考	○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。日常生活においては、過度に心配する必要はありません。		
報道(取材)に当たってのお願い	<p>○ 死亡していたり、衰弱している鳥などの野生動物を見つけても、素手で触らない、触った場合は手洗いするなど、死んだ鳥などの野生動物との接し方について注意喚起をお願いします。</p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止のため、引き続き、家きん飼養農場における飼養衛生管理の自己点検や消毒の徹底について、注意喚起のご協力をお願いします。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	オホーツク総合振興局、釧路総合振興局	
担当(連絡先)	<p>・環境生活部自然環境局野生動物対策課野生鳥獣係(担当者:課長補佐 車田) TEL:011-231-4111(内線24-384)ダイヤルイン:011-204-5205 公用スマホ:011-585-6102 内線24-582</p> <p>・農政部生産振興局畜産振興課家畜衛生係(担当者:主幹 中田) TEL:011-231-4111(内線27-791)ダイヤルイン:011-204-5441 公用スマホ:011-585-6102 内線20-519</p>		

令和6年（2024年）11月7日 15時現在

令和6年（2024年）シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況
 <令和6年（2024年）9月～>

本件	野鳥 ○例目	回収日 採取日	場所		検体情報			簡易 検査	遺伝子 検査	病原性
			振興局	市町村	検体の種類	種名	羽数			
	疑い	11/1	オホーツク	清里町	死亡野鳥	タンチョウ	1	陽性	検査中	
	疑い	10/31	十勝	本別町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	検査中
	疑い	10/30	十勝	池田町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	検査中
	疑い	10/22	釧路	標茶町	死亡野鳥	タンチョウ	1	陽性	検査中	
●	9例目	10/31	オホーツク	大空町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
●	8例目	10/31	オホーツク	北見市	死亡野鳥	ハヤブサ	1	陽性	陽性	高病原性
●	7例目	10/30	釧路	釧路市	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
●	6例目	10/29	オホーツク	斜里町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	5例目	10/25	釧路	浜中町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	4例目	10/24	オホーツク	清里町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	3例目	10/16	オホーツク	斜里町	衰弱野鳥	オジロワシ	1	/	陽性	高病原性
	2例目	10/8	根室	別海町	糞便	ヒドリガモ	/	/	陽性	高病原性
	1例目	9/30	檜山	乙部町	死亡野鳥	ハヤブサ	1	陽性	陽性	高病原性